

(様式2)

令和 元 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590300529		
法人名	株式会社ふれあいの杜		
事業所名	グループホームふれあいの杜上越		
所在地	新潟県上越市頸城区榎井346番地1		
自己評価作成日	令和元年5月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/15/i/ndex.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1590300529-00&PrEfCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和元年7月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○当ホームは、周りには田畑が広がり、頸城連邦に囲まれ、のどかな場所に位置している。リビングでは南側に大きな窓と掘りごたつの小上がりがあり、恵まれた景色を見ながらゆったりとした時間を過ごしていただき、晴れた日は施設周辺を散歩しながら季節の移り変わりを感じることができる環境となっている。

○ご入居者ができる事(掃除・洗濯干し、たたみ・料理下ごしらえ等)は自ら行っていただき、一人ひとりの生活に必要な「居場所」になるよう、環境を整えている。外出行事にも力を入れており、気分転換が図れるよう工夫している。

○スタッフを育成する取組として、施設内研修、外部研修への参加、また法人内のグループホーム部会研修や法人内の他施設と合同での研修会に参加し、ご入居者へより質の高いサービスの提供がなされるように、資質向上に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○一人ひとりの思いに寄り添い支え合う関係について
事業所は9人1ユニットの利用者が共に生活をしている。日々の生活の中で利用者の近くには常に職員がおり、一人ひとりの話を聞きながらその人に合った生活が送れるよう支援することを心掛けている。定期的に発行されている「ふれあいだより」には利用者、職員の笑顔があふれ、生き生きとして生活している様子が写真を通して伝わってくる。こうした事業所の取り組みから、家族の安心が事業所への信頼関係に繋がっている。

○美味しいものを楽しく食べる「食」への取り組みについて
頸城山脈と田園に囲まれた、静かな場所にある事業所は地域の方々から取れたて野菜や季節の食べ物などの届け物がある。それらを献立の中に取り入れて、懐かしい気持ちや、食べたい気持ちと、個々の持てる力の発揮場所として、ケアの中に生かされている。夕顔からかんばんを作ったことや、事業所の中庭で育てている野菜や花の話をする利用者の表情が、生き生きしており、個々のニーズや希望を大切にされた暮らしが、利用者と家族の安定した、安心な生活になるよう、管理者・職員が様々な支援の工夫をしていることが窺える。

○災害対策から地域に密着した事業所の取り組みについて
地域の町内会に入り、地域のお祭りや行事には参加し、身近な交流を図りながら地域の一員として関係性を築いている。防災面においては、運営推進会議の防災の話し合いから、地域の防災連絡表に「ふれあいの杜上越」の名前を載せてもらい、今年度から地域の防災訓練にも利用者として参加し、地域との災害時における連携、協力体制が構築される。地域との繋がりを深め防災の連携だけでなく地域との良い関係が築かれている。